

「グループ横断のサステナビリティ推進委員会を立ち上げました。」

環境、社会、ガバナンス（企業統治）に重点を置いたESG経営の推進に向け、サステナビリティ推進事務局を2022年1月に発足しました。環境保全の取り組みを強化する目的で、まずは二酸化炭素（CO₂）排出量を減らしていきます。グループ全体で一年をかけて現在の排出量を測定し、目標も算出できたので、今年から施策を実行していきます。

「造船事業（常石造船）では、新たなパートナーとの連携を拡充しま

開発加速

考え行動し、自ら描く未来像を実現できる人材育成の仕組みづくりに着手します。

「ESG経営はどのように進めていきますか。」

ESGを成長戦略の柱に位置づけ、技術や製品の開発を加速させます。中でも造船事業では、CO₂排出量削減や新燃料対応船の開発といったグリーンテクノロジーと、自律運航船開発やデータを基にしたデータドリブン経営などのイノベーションをさらに推進していきます。デジタル技術などの有用な情報をグループ内で共有するほか、ほかの事業会社も活用できるようにし、シナジー（相乗）効果を発揮していくことで、持続可能な社会の実現へ責任を果たしていきます。



CO₂を排出しない「ネットゼロ・エミッション」外航液化ガス輸送船」を共同開発中

概要

- 本社所在地 〒720-0393福山市沼隈町常石1083
☎084(987)1111
- 設立 1903年（常石グループ祖業の海運業の創業年）
- 事業内容 祖業の海運や中核の造船に加え、エネルギー、環境、ライフ&リゾートの5つの事業セグメントにおいて、グループ経営資源の相乗効果を発揮し、事業の多角化やグローバル化を推進しています。
- 資本金 1億円
- 売上高 1973億円（2021年12月現在）※グループ連結
- 従業員数 約3800人（2022年11月現在）※国内のグループ連結対象会社
- 支社・支店・工場 グループ主要拠点：日本、フィリピン、中国、パラグアイ、シンガポール、オランダ、タイ
- 関連会社 神原汽船、常石造船、ツネイシCパリュース、ツネイシカムテックス、せとうちクルーズなど
- ホームページ <https://www.tsuneishi-g.jp/>

ツネイシホールディングス株式会社



かんばら ひろたつ

代表取締役社長 神原 宏達氏

した。

22年4月に神田ドック（呉市）、10月に三井E&S造船（東京）、新潟造船（新潟市）、M&ES由良ドック（和歌山県由良町、現・由良ドック）

120周年 CO₂減や製品

クを連結子会社化しました。それぞれのドックの利点を生かし、どのような船にも対応できるようにしてお客さまの利便性向上を図っていきます。次世代燃料対応などの環境技

若手・中堅社員を中心としたプロジェクトチームを22年に立ち上げて、ツネイシイズムとは何かを考えた結果、「未来の価値を、いまつくろ。」というスローガンになりました。

術や自律運航技術の開発を加速し、顧客価値を高め、新たなビジネスモデルの構築を目指します。
「今年の創業120周年を機に策定したグループスローガンとは。」